新地町立福田小学校　資料編②

第４学年　国語科学習指導案

授業テーマ

情報を調べ，集める活動を通して，正確で説得力のある文章になるようにさまざまな図書から情報を集めることが重要であることに気付くとともに，著作権を尊重し，保護する態度を養うことができる授業

１　単元名　　　中心となる語や文を見つけて要約し，調べたことを書こう

「世界にほこる和紙」「［じょうほう］百科事典での調べ方」

「伝統工芸のよさを伝えよう」　　　　　　　（光村図書）

２　単元設定の理由

　（１）児童観

（略）

　（２）教材観

　　　　本単元は，「世界にほこる和紙」や自分の選んだ伝統工芸について書かれた本を読んで構成を捉えるとともに，中心となる語や文を見つけて，書かれていることを要約する力を身に付ける単元である。また，「世界にほこる和紙」での説明の仕方の工夫を「伝統工芸のよさを伝えよう」におけるリーフレット作りの活動に活かすことで，その理解を深めることができる複合単元である。第２次で読む「世界にほこる和紙」は「初め」と「終わり」に筆者の考えが述べられている双括型の文章である。「中」では，和紙の特徴について，理由と事例を具体的に挙げて説明することで説得力をもたせている。構成が捉えやすく，考えと理由の関係を捉えたり，中心となる語や文を見つけて要約したりしやすい教材である。また，こうした構成のよさをリーフレットにまとめる活動に活かすことで，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係が明確になり，その効果に対する理解をさらに深めることができる教材である。

　（３）指導観

　　　　本単元の指導に当たっては，単元のゴールとして児童が選んだ伝統工芸のよさを的確に伝えることができるリーフレットを作成し，ＡＬＴに紹介するという言語活動を設定する。ＡＬＴという「相手」を設定することで，中心となる語や文を見つけて要約する際に，できるだけ簡単な日本語を使ったり，分かりやすい特徴を具体的な例を用いて紹介したりして伝えようという相手意識を働かせるとともに，取り上げる題材に関連する本やインターネットのサイト等を調べる必然性が生まれるようにした。中心となる語や文を見つける際には，文章全体の構成を手掛かりにしたり，何度も出てくる言葉に線を引いたりして，見つけた言葉や文をペアやグループで共有し，精査する活動を設けることで，スモールステップを踏んで要約していくようにする。また，伝統工芸のよさを伝えるために様々な書籍やインターネットのサイトを活用して様々な情報を集めていく。そこで，町図書館と連携を図り，さまざまな書籍を用意することで正確な情報を取り扱えるようにする。さらに，そうした書籍やインターネットのサイトには著作権があることを理解するとともに，保護する態度を養うことができるようにしたい。

３　単元の目標

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識及び技能 | 思考力, 判断力, 表現力等 | 学びに向かう力, 人間性等 |
| 〇　必要な語句などの書き留め方，辞典の使い方や出典の示し方を理解する。（２）イ〇　幅広く読書に親しみ，読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付く。　　　　　　　　　　（３）オ | 〇　自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫する。　　　　　　　　　Ｂ（１）ウ〇　目的を意識して，中心となる語や文を見付けて要約する。　　　　　　Ｃ（１）ウ | 〇　言葉がもつよさに気付くとともに，幅広く読書をし，国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとする。 |

４　単元の指導計画（全１７時間）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 次 | 時間 | 学習活動 | 評価 |
| 知　技 | 思判表 | 態度 | 評価規準 |
| 【本単元のゴール】ＡＬＴにおすすめの伝統工芸品を紹介し，買いたいと思ってもらえるようなリーフレットを作成する。  |
| １ | 1 | 伝統工芸について関心をもつとともに，学習課題を設定し，学習計画を立てる。 |  |  | ○ | 伝統工芸に関心をもち，単元全体の学習の見通しをもって，進んで学習に取り組もうとしている。 |
| 2 | 「百科事典での調べ方」を読み，百科事典の使い方を知る。 | ○ |  |  | 　百科事典の使い方を理解し，使っている。 |
| ２ | 3 | 「世界にほこる和紙」を読み，おおまかな内容や文章の構成を捉える。 |  | ○ |  | 　「世界にほこる和紙」を読み，おおまかな内容を捉えたり，文章の構成を「初め」「中」「終わり」に分けたりしている。 |
| 4 | 「中」でどのような例が，何を説明するために述べられているのかを読み取る。 |  | ○ |  | 　「中」の具体的な事例が，何の説明のために述べられているかを読み取っている。 |
| 5 | 「世界にほこる和紙」を読み，筆者が伝えたいことを読み取る。 |  | ○ |  | 　筆者の伝えたいことを表す語や文を見付けて，筆者の思いや考えとその理由となることを読み取っている。 |
| 6 | まとまりごとに中心となる語や文を考え，「世界にほこる和紙」を要約する。 |  | ○ |  | 　中心となる語や文を考えながら，目的を意識して要約している。 |
| 7・8 | 伝統工芸に関する本について，よさが書かれているところを中心に要約し，読み合う。 | ○ |  | ○ | 　中心となる語や文を考えながら，目的や相手を意識して要約している。　読書が，必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 |
| ３ | 9 | 　伝統工芸のよさを伝えるリーフレットを作る学習の見通しをもつ。 |  |  | ○ | 今後の見通しをもち，自分が紹介する伝統工芸を選ぶとともに，そのリーフレットを作ることに意欲をもっている。 |
| 10・11 | 紹介するものを決めて，本などで調べ，情報を整理する。 | 〇 |  | ○ | 必要な語句などの書き留め方，辞典の使い方や出典の示し方を理解している。　伝統工芸について，幅広い情報源を用いて進んで調べている。 |
| 12・13 | 　リーフレットに載せる文章の組み立てや資料を考える。 |  | ○ | ○ | 　整理した情報を基に，リーフレットに載せる文章の組み立てを考えている。　リーフレットに使う写真や絵を，進んで考えたり選んだりしている。 |
| 14 | 　リーフレットに載せる文章の下書きを書く。 |  | ○ |  | 　調べたことを基に，自分の考えと理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫して下書きを書いている。 |
| 15・16 | レイアウトを工夫して，リーフレットを完成させる。 |  | ○ |  | 　相手や目的を意識して，リーフレットを書いている。 |
| 17 | 　友達とリーフレットを読み合い，感想を伝え合う。 |  |  | ○ | 　友達のリーフレットを読み，進んで感想を交流している。 |
| 事後 | 　ＡＬＴに，リーフレットをもとに伝統工芸のよさを伝える。 |

５　本時のねらい

伝統工芸について様々な情報源から調べ，必要な情報をカードに書き出すことができる。

６　学習過程（本時１０／１８）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動・内容 | 時間(分) | ○指導上の留意点　※評価（方法）　■情報モラル |
| １　本時の学習課題を確認する。（１）前時までの学習を振り返る。（２）本時の学習課題を設定する。　伝統工芸について調べ，じょうほうを整理しよう。 | ５ | * 前時に決めた伝統工芸について確認すると共に，調べ

る本や資料を用意しているか確認する。* ＡＬＴに紹介するという目的を確認し，相手意識をも

って取り組むことができるようにする。 |
| ２　学習課題を解決する。（１）　調べることや調べ方について確認し，様々な方法で調べる。①　調べること・　よさ　・　理由　・　例②　調べる方法* 本
* パンフレット
* インターネット
* インタビュー　等

（２）　調べたことが十分か,分かりやすいかを確認する。・　何ページに書いてあったか，すぐ分からなくて困った。・　メモやリーフレットにも書いておくといいね。（３）　前半と違う方法で調べ，気付いたことを話し合う。　　・　○○には，「使いやすい」という特徴があったよ。　　・　「使いやすい」からこんなものに使われているんだね。 | ５1015 | ○　調べることや調べる方法について確認することで，学習の見通しをもつことができるようにする。■　調べる際には複数の情報源（図書やインターネットのサイト等）を確かめるよう伝え，信頼できる情報源なのか確認し，情報の信頼性を保つことができるようにする。○　調べ活動を行う際は，選んだ伝統工芸が似ているもの同士でグループを組み，情報を共有することができるようにする。○　「ＡＬＴの先生に，正しく伝わるかな」のように問うことで，相手意識をもって学習に取り組むことができるようにする。■　出典を載せる理由を問うことで，著作権を尊重し，保護することができることや読んでいる人が知りたいと思った時に調べられることを想起することができるようにする。〇　調べる方法ごとのよさについて整理して板書することで，目的に応じて調べる方法を工夫するよさに気付くことができるようにする。※　必要な語句などの書き留め方，辞典の使い方や出典の示し方を理解している。（記述）※　伝統工芸について，幅広い情報源を用いて進んで調べている。（観察・記述・発言） |
| ３　本時の活動を振り返り，次時の見通しをもつ。（１）　児童の言葉で本時の振り返りをする。・　○○のよさを伝えるために理由や例になることを調べられた。・　じょうほうを集めるときには，いろいろな情報源から集めたり，出典をのせたりすることが大切。 | 10 | 〇　学習を振り返る際は，自分のできたところや友達の良かったところについて記述するよう伝えることで，それぞれの調べ方のよさについて理解を深めることができるようにする。* 次時では，さらに情報を集めた上で，調べたことを分

類し，友達と伝え合ってより伝わるように助言しあったり，リーフレットに活用するものを精選したりしていくことを伝え，次時の学習の見通しをもつことができるようにする。 |